

呼吸機能検査をお受けになる患者さんへ

この検査は、主に呼吸器系疾患の診断のために行います。

そのほか、手術前などの全身状態をチェックする目的で行う場合があります。

検査の時には、息を止めたり、勢いよく吐いたり患者さんの協力が必要です。

| 検査の種類 | 検査時間 | 検査の内容 |
|-------------------|------------------------|---|
| 呼吸検査 (精密検査を含む) | 約10分 (精密検査 約1時間) | 肺活量や息の吐く能力など肺の機能を調べます。 (精密検査は、残気量、肺拡散能力など肺の機能を詳細に調べる検査です。) |
| 呼気NO測定 | 約10分 | 吐いた息に含まれる一酸化窒素 (NO) の濃度を測定し、気道の炎症状態を評価します。主に喘息の診断や治療薬の投与量を決めるために行う検査です。 |
| 呼吸抵抗測定 | 約15分 | 息の吐きだしにくさを調べ、喘息や慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の病態診断や薬の効果を判定するために行う検査です。 |